

水道事業におけるIoT活用推進モデル事業（豊橋市上下水道局）

- 令和3年度より、普及に向けて実用性を高めるため、水道スマートメーター導入課題である「社会実装」と「新たな活用方法」に取り組む。
- 令和4年度82個設置。（設置予定数584個）。
- 当該事業を通じて、施設管理者の検針業務が効率化されたほか、漏水を発見。

事業概要・事業の進捗状況

- ・ 事業期間：令和3年度～令和7年度
- ・ 実施箇所：小規模配水区（雲谷加圧配水区）、公共施設
- ・ 事業実施状況：小規模配水区：全86個設置完了、公共施設236/498個設置（効果検証中）

導入状況・設置状況

- ・ 小規模配水区・公共施設・公営住宅に設置
- ・ 加圧所の流量計と各戸の使用水量を比較
- ・ Webによる使用水量の見える化サービスを提供

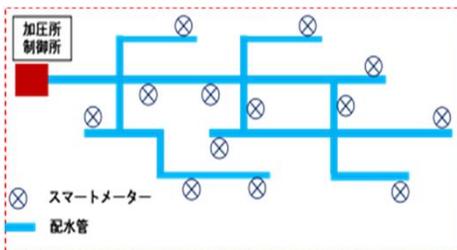
スマートメーター



設置状況



小規模配水区（イメージ）



公共施設（イメージ）



付加効果

- ・ 公共施設管理者によるデータの利活用ニーズの掘り起こし。

業務の効率化

- ・ 小規模配水区において流入水量と各戸電子メーターと比較し配水管漏水の早期特定ができた。
- ・ 自動検針により施設管理者による現地検針が不要となる。（現状は、通信環境により現地検針が必要な箇所があるため対策を検討中）

before

検針
時間

自動検針

after



- ・ 災害対応や空き家への活用は、データの分析を進め検証を行っていく。

他事業者へ共有すべき事項

- ・ 目的に応じた検針データの収集を行うことができる通信方式（検針時間・双方向通信の可否）の選択が必要となる。
- ・ 対象とするメーター及びエリアに対応できる通信方式の選択
- ・ 豊橋市HP：取組状況 <https://www.city.Toyohashi.lg.jp/41656.htm>

問合せ先

豊橋市上下水道局 営業課 給水装置担当
TEL:0532-51-2722/ Email: water-eigyo@city.toyohashi.lg.jp